

7月度生涯研修抄録

AI時代の歯科保存界わいと 変わり行くう蝕治療

野村由一郎氏 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔健康科学講座 う蝕学分野 教授)

まず、1. Modern Endodonticsの実際について概説し、2. AI時代の最新歯内療法や治療器について紹介する予定である。歯内療法の臨床に技術革新が起こり、早20年近く経過した。症例を通してその功績を再認識するとともに、大学病院歯科の専門外来に難治性歯内疾患としてご紹介頂く症例の原因分析結果について報告する。次に、歯内療法はブラックボックスである事案について、すなわち『無菌的処置』の意義とは何か、根管治療による除菌率と治療の成功率の関係等を最新機器による動物実験により検索した研究を概説する。また、新時代俗にいう『AI時代』の歯科界や歯内療法の現状と最先端のAI機器にはどんなものがあるかご紹介したい。

後半部分では、『診て護る』新しいう蝕治療の導入がどこまで進み、何処に向かうかを新潟での自身の試みをもとにご紹介する。世界ではACF (Alliance for a cavity free future) が旗揚げし、日本政府は国民皆歯科健診の導入の検討に入り、学術領域では2020年歯科保存学会と歯科衛生士会が『う蝕予防管理の認定歯科衛生士制度』を共同設立した。新潟大病院歯科では2022年8月に『う蝕予防管理システム』の運用が始まり、歯科衛生士部、研修医と学部臨床教育へのシステム導入も完了した。本講演の後半では超高齢社会の日本の歯科界では、誰が何を求められているかについてその現状と未来予想を概説する。

談話室 たんわ室

アカデミー賞8部門にノミネート(脚色賞受賞)された映画「教皇選挙」を観に行った。元々話題作であった様だが、それに加え上映期間中に現実世界でローマ教皇が死去し、教皇選挙(コンクラーベ)が行われるという事で更に注目度が上がった様だ。新しくローマ教皇に選出されたレオ

14世は、アメリカからバチカンに向かう機内でこの映画を観たとか。

映画は教皇死去のシーンから始まり、次の教皇を決めるコンクラーベの描写が中心となるが、この映画で一番描きたかったのはジェンダー問題だと思ふ。バチカンでは教皇、枢機卿、大司教、司教等指導的立場に就けるのは男性のみ。故に劇中では修道女が「私達は裏方存在」と言い、女性に活躍して欲しいと願う候補者は終始不利な選挙戦を強いられ、バチカンの厨房で奉仕するのは女性ばかりとなる。

そんな中、前述の修道女が行動を起こす度に有力候補者のスキャンダルが露呈し、選挙戦から脱落していく様子はバチカンの対する痛烈な皮肉に見える。庭を歩く若い修道女3人を主人公が温かい眼差しで見守るラストシーンは「若い女性こそがバチカンの未来」というメッセージに聞こえたがどうだろうか？

さて、話は変わって保険医協会だ。当協会も現状はバチカンの様なものだ(バチカン程の崇高な雰囲気は皆無だが)。女性会員の割合は10%程度、21人の理事会で女性理事はたった1人。近い将来、女性会員が増え、理事の半数が女性となり、今以上に多種多様な意見が反映される協会になる事を望む。女性理事長誕生の際には協会会館の屋上から白い煙を上げたいと思う。バチカンに先んじようではないか。色々書いたが、「教皇選挙」は登場人物が丁寧に描かれ、現代の様々な問題に対して示唆に富む完成度の高い名作だと思う。こういう時に言うのだから、「映画って本当にいいものですね」と。若い先生方には通じないかな!?

映画「教皇選挙」を通して 保険医協会とジェンダー問題

齋賀 史郎 (豊中市)



近くに歯医者があるということ

能登の被災地から歯科医療提供体制を問う(上)

石川県保険医協会 副会長 平田米里 (歯科医師)

私は能登地方の出身だが、現在は金沢市の郊外に位置するベッドタウンで診療を行っている。比較的住環境にも恵まれ、人口も増加傾向にある。周辺の歯科医院の経営はそれなりに成り立っていると思われる。ただし、そこから100km離れた奥能登へ行くと、まったく異なる現実が広がっている。高齢化率が50%を超え、いわゆる限界集落が点在しているような地域である。

このような地域の実態を踏まえ、歯科医療提供体制において一律の施策では対応しきれない。都市部と中山間地域、へき地では、必要とされる対策が根本的に異なるのである。とりわけへき地においては、民間

受診できる余地があると思うが、能登のような地域ではそうはいかない。もはや公的医療機関が最後の砦となっており、その中でもとくに公立病院の歯科口腔外科に、より多機能な役割が求められるという。難抜歯や口腔がんといった専門的処置だけでなく、義歯の作製やう蝕、歯周病治療といった一般的な歯科診療を含む体制の構築が必要である。

地域を守るために
採算が合わないからと

大阪府歯科保険医協会
求人情報サイト

会員限定

協会ホームページから簡単申込
掲載料は3カ月で1万円!
費用は掲載料のみ
スマホからの申し込みも可!
更新は毎月15日

詳細は 大阪府歯科保険医協会 検索

協会行事案内

参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M&Dホールは保険医会館東隣りです。

お申し込みは右のQRコードから協会行事予定をご確認ください

「スタッフ対象」
新人スタッフ講座 助手編

日時 6月22日(日) 午前10時～午後1時
会場 M&Dホール
講師 臨床学術部講師団
会費 3千円 定員 80人

「会員・スタッフ対象」7月度生涯研修
AI時代の歯科保存界わいと変わり行くう蝕治療

日時 7月13日(日) 午前10時～午後1時
会場 M&Dホール
講師 野村由一郎氏(新潟大学医歯学総合研究科口腔健康科学講座う蝕学分野教授)
会費 3千円 定員 80人
※保育有り(10日前までに要予約。まずはお電話下さい)

「会員限定」
根管強(旧か強診)、歯援診、外安全・外感染(旧外来環)、歯初診の施設基準にかかわる研修会

日時 7月27日(日) 午前9時～午後1時
会場 M&Dホール
講師 古土井春吾氏(甲南医療センター歯科口腔外科部長)
会費 5千円 定員 80人
※お申し込みは電話かファックスにて

「会員・スタッフ対象」三島地区講習会 (Zoom限定)
口腔機能低下を見逃さない!現場で活かす歯科衛生士の視点と工夫

日時 7月27日(日) 午前10時～正午
講師 小原由紀氏(宮城高等歯科衛生士学院教務主任、東京都健康長寿医療センター研究所非常勤研究員)
会費 無料 定員 100人
※Web限定の講習会のため、申込にはメールアドレスが必須です。

「スタッフ対象」
チエアサイド講習会 バキューム実習

日時 8月24日(日) 午前10時～午後1時
会場 とみもと歯科(地下鉄中央線「朝潮橋」駅から徒歩10分)
講師 富本昌之氏(大阪市港区開業)
会費 5千円 定員 16人

「無料相談」
法律相談 7月7日(月) 14時～16時(30分枠)
7月16日(水) 14時～17時(1時間枠)
7月17日(木) 14時～16時(30分枠)
雇用相談 7月17日(木) 14時～17時(1時間枠)
システム相談 第3土曜日 14時～17時(1時間枠)

※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み